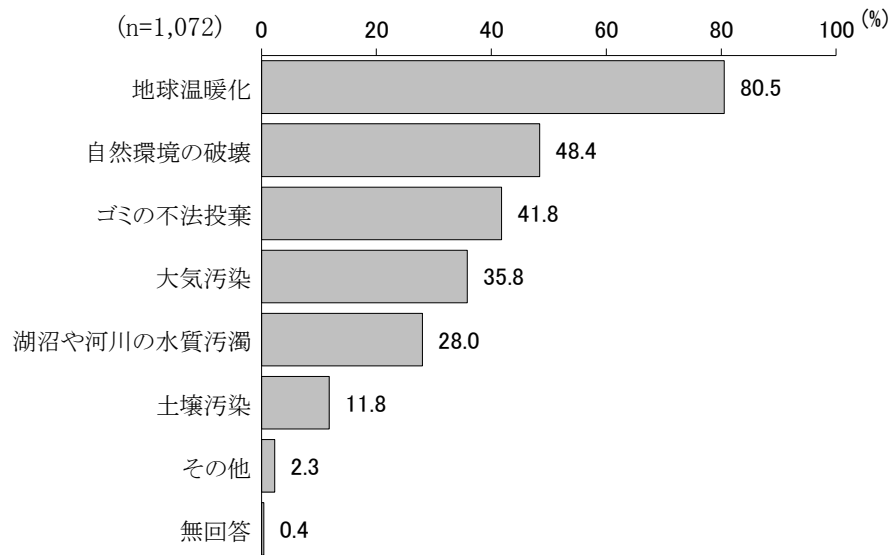


IV 環境問題

1. 環境問題で関心のあること

－「地球温暖化」が約8割－

問9 あなたが、現在の環境問題の中で関心のあることを、次の中から3つまで選んでください。



現在の環境問題の中で関心のあることは、「地球温暖化」（80.5%）が約8割で最も高く、次いで、「自然環境の破壊」（48.4%）と「ゴミの不法投棄」（41.8%）が4割台が続いている。

－鹿行で「ゴミの不法投棄」が約6割－

地域別でみると、「ゴミの不法投棄」は、鹿行（57.6%）で約6割と最も高くなっている。

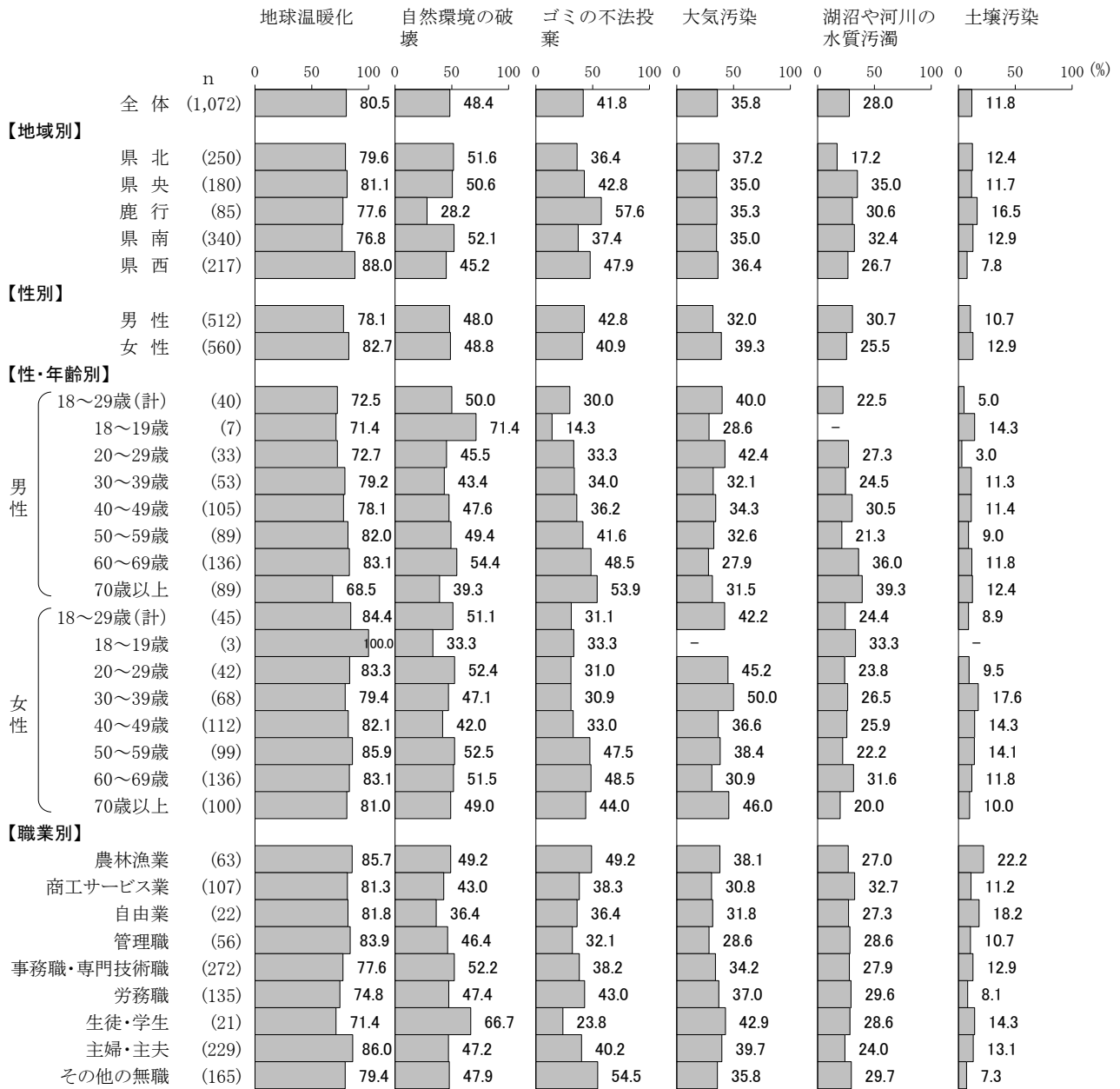
－女性で「大気汚染」が男性よりも約7ポイント高い－

性別でみると、「大気汚染」は、女性（39.3%）が男性（32.0%）よりも約7ポイント高くなっている。

－男性の70歳以上で「ゴミの不法投棄」が5割台半ば－

性・年齢別でみると、「ゴミの不法投棄」は、男性の70歳以上（53.9%）で5割台半ばと最も高くなっている。

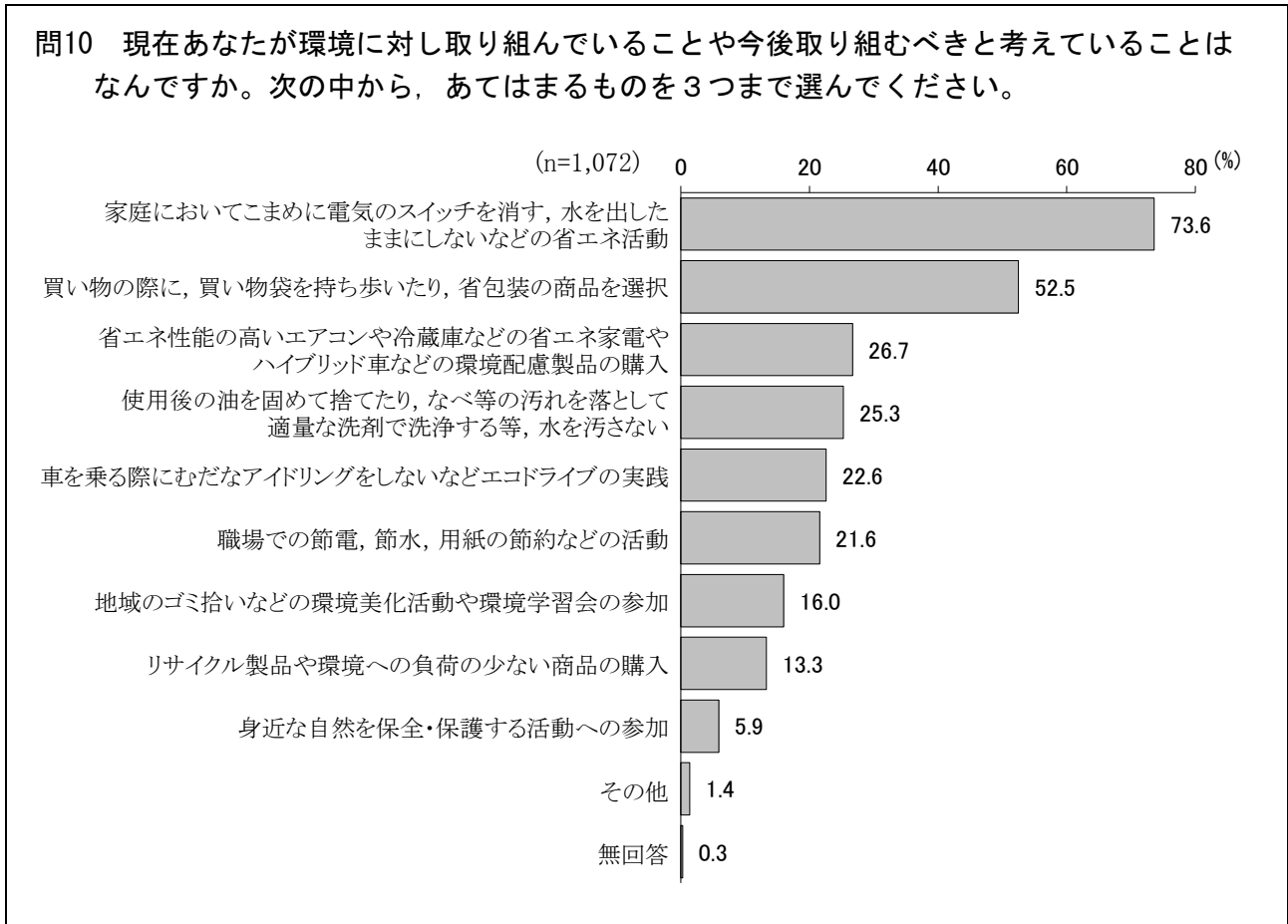
図IV 9-1 環境問題で関心のあること
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 環境に対し取り組んでいる・今後取り組むべきこと

－「家庭においてこまめに電気のスイッチを消す，水を出したままにしないなどの省エネ活動」が7割台半ば－



現在環境に対し取り組んでいることや今後取り組むべきと考えていることは，「家庭においてこまめに電気のスイッチを消す，水を出したままにしないなどの省エネ活動」（73.6%）が7割台半ばで最も高く，次いで，「買い物の際に，買い物袋を持ち歩いたり，省包装の商品を選択」（52.5%）が5割台で続いている。

－県央で「使用後の油を固めて捨てたり，なべ等の汚れを落として適量な洗剤で洗浄する等，水を汚さない」が3割超－

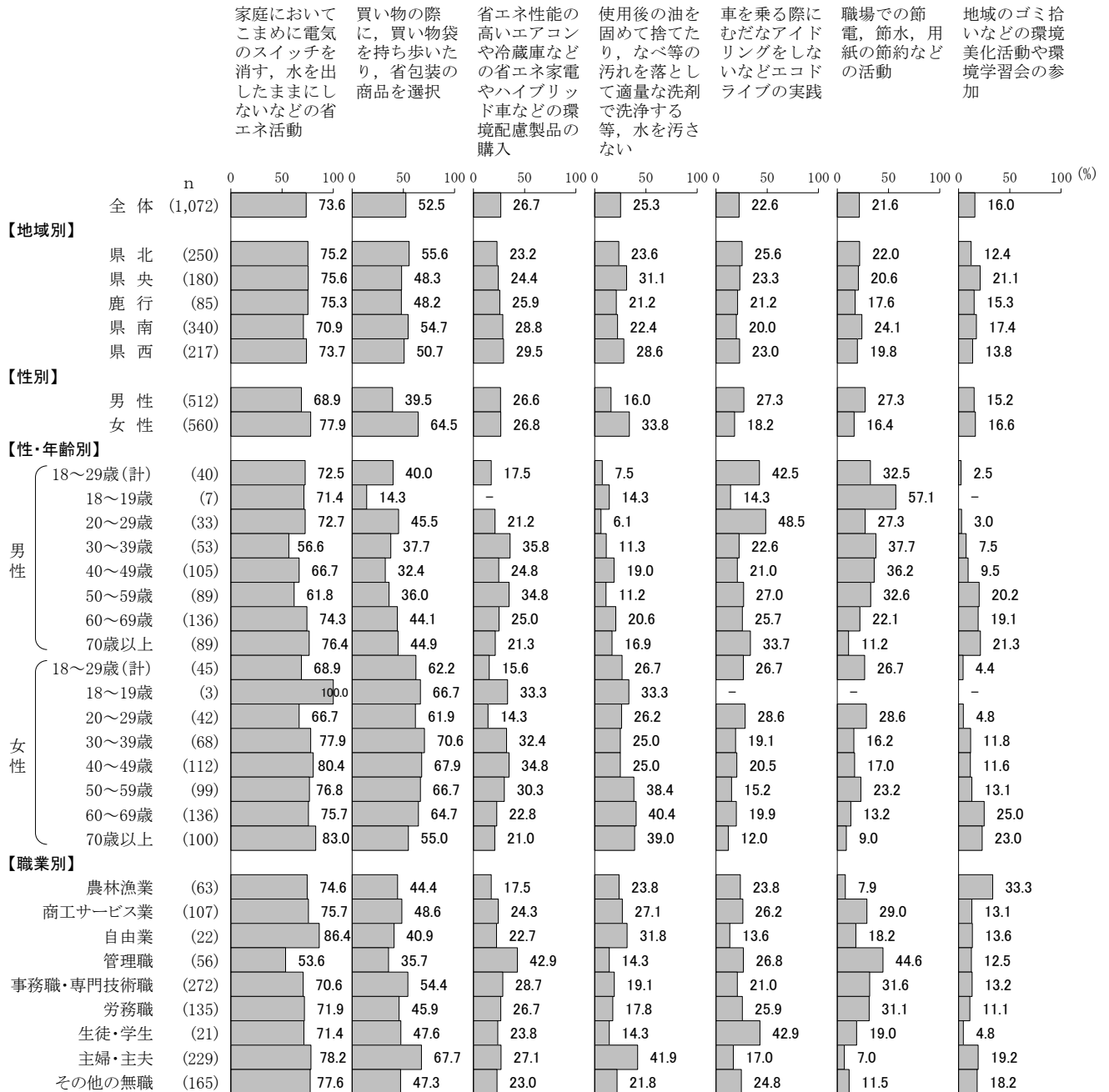
地域別でみると，「使用後の油を固めて捨てたり，なべ等の汚れを落として適量な洗剤で洗浄する等，水を汚さない」は，県央（31.1%）で3割を超えて最も高くなっている。

－女性で「買い物の際に，買い物袋を持ち歩いたり，省包装の商品を選択」が男性よりも25ポイント，「使用後の油を固めて捨てたり，なべ等の汚れを落として適量な洗剤で洗浄する等，水を汚さない」が男性よりも約18ポイント高い－

性別でみると，「買い物の際に，買い物袋を持ち歩いたり，省包装の商品を選択」は，女性（64.5%）が男性（39.5%）よりも25ポイント，「使用後の油を固めて捨てたり，なべ等の汚れを落として適量な洗剤で洗浄する等，水を汚さない」は，女性（33.8%）が男性（16.0%）よりも約18ポイント高くなっている。

一女性の30代と40代で「買い物の際に、買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選択」が約7割一
 性・年齢別でみると、「買い物の際に、買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選択」は、女
 性の30代(70.6%)と40代(67.9%)で約7割と高く、次いで、女性の50代(66.7%)と60代(64.7%)
 で6割台半ばとなっている。

図IV 10-1 環境に対し取り組んでいる・今後取り組むべきこと
 (地域別、性別、性・年齢別、職業別—上位7項目)

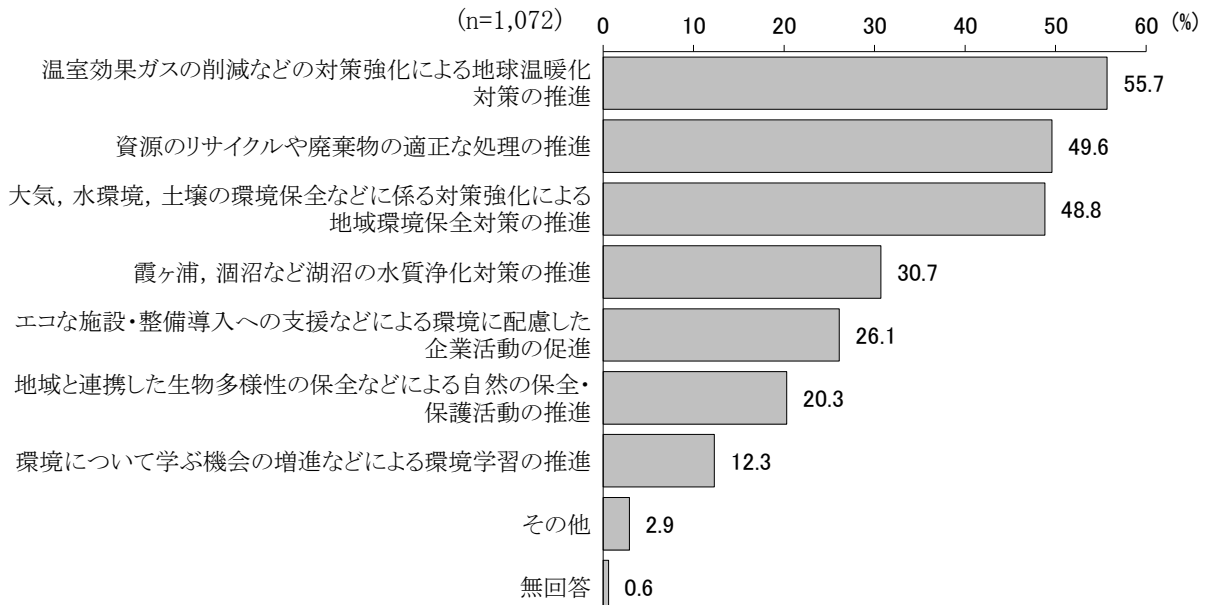


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
 性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 県の環境行政に求めること

－「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」が5割台半ば－

問11 県の環境行政に求めることは何ですか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



県の環境行政に求めることは、「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」(55.7%)が5割台半ばで最も高く、次いで、「資源のリサイクルや廃棄物の適正な処理の推進」(49.6%)と「大気, 水環境, 土壌の環境保全などに係る対策強化による地域環境保全対策の推進」(48.8%)が4割台で続いている。

－県西で「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」が約7割－

地域別でみると、「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」は、県西(67.3%)で約7割と最も高くなっている。

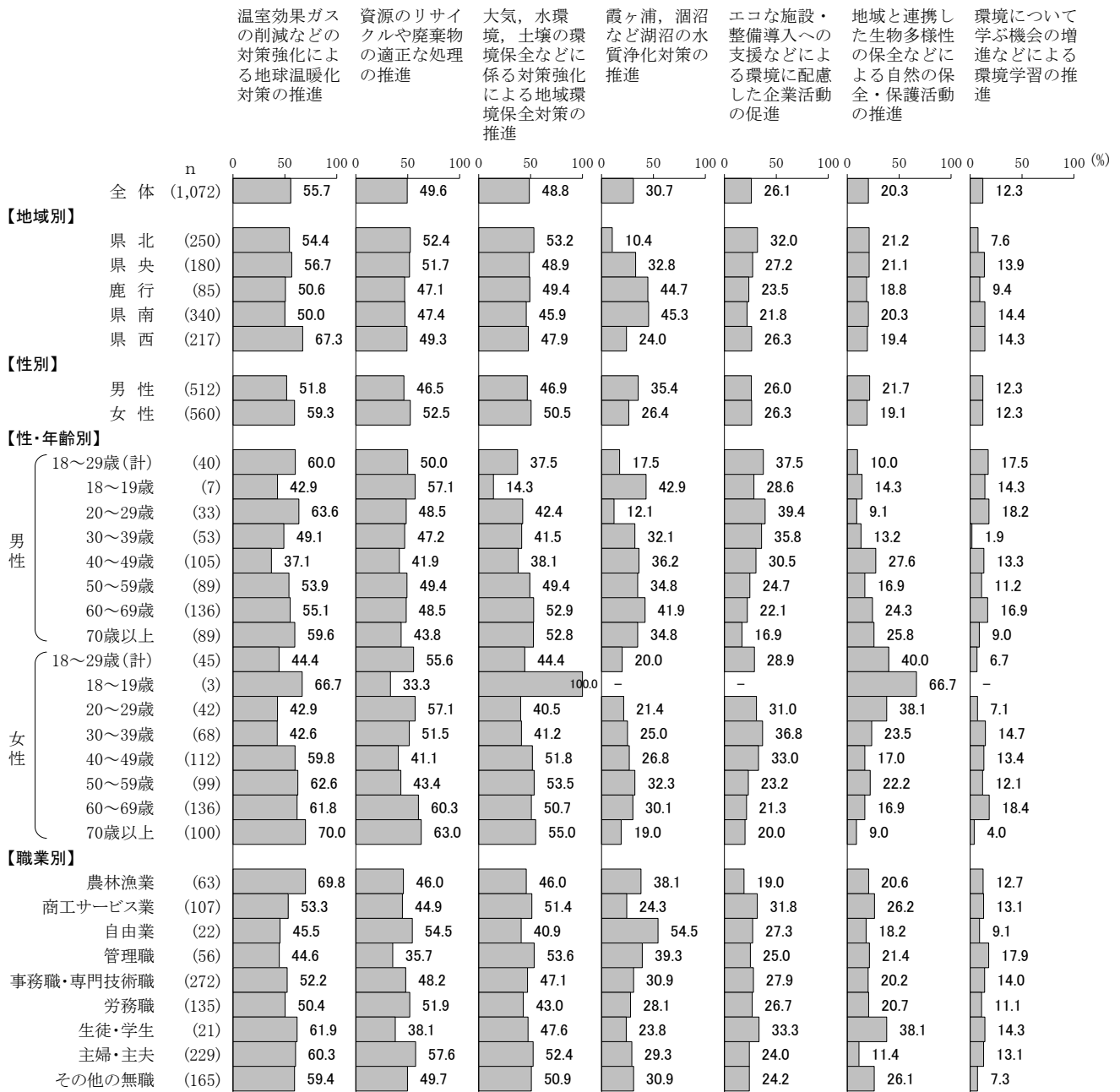
－男性で「霞ヶ浦, 涸沼など湖沼の水質浄化対策の推進」が女性よりも9ポイント高い－

性別でみると、「霞ヶ浦, 涸沼など湖沼の水質浄化対策の推進」は、男性(35.4%)が女性(26.4%)よりも9ポイント高くなっている。一方、「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」は、女性(59.3%)が男性(51.8%)よりも約8ポイント、「資源のリサイクルや廃棄物の適正な処理の推進」は、女性(52.5%)が男性(46.5%)よりも6ポイント高くなっている。

－女性の70歳以上で「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」が7割－

性・年齢別でみると、「温室効果ガスの削減などの対策強化による地球温暖化対策の推進」は、女性の70歳以上(70.0%)で7割と最も高くなっている。

図IV 11-1 県の環境行政に求めること
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。